

新たな北海道総合開発計画に関するシンポジウム

# 新たな北海道総合開発計画の推進 ～世界水準の価値創造空間の形成をめざして～

[日 時] 平成28年5月17日(火)  
14:30～17:00(14:00開場)

[場 所] 札幌パークホテル 3階「パークホール」  
札幌市中央区南10条西3丁目1-1  
(地下鉄中島公園駅すぐ)

平成28年3月29日に閣議決定された「北海道総合開発計画」では、「世界の北海道」をキャッチフレーズに、北海道の豊かな自然環境や暮らし、文化等に根ざしつつ、世界に通用する水準の価値創造を目指し、世界との競争と連携に挑戦していくことが、地域の発展と我が国全体への貢献を果たすための鍵であるとしております。今後、北海道民を始めとする関係者が連携して新たな計画の実現に向けた取組を進められるよう、本シンポジウムで新たな計画を報告するとともに、経済界や観光、地域づくりなど各分野の有識者・先駆者によるパネルディスカッションを通じて、参加者が、食・農業、観光などにおいて持つべき様々な視点や課題を共有し、新計画実現の気運醸成を図ることを目的に開催します。



## プログラム

14:30 開会

14:35 プレゼンテーション  
「新たな北海道総合開発計画の概要」  
(説明)  
水島 徹治(国土交通省北海道局参事官)

14:50 基調講演  
「多様な主体がつくる魅力ある北海道」  
(講師)  
奥野 信宏(国土審議会会長(同北海道開発分科会会長)、  
学校法人梅村学園・中京大学理事・学術顧問)

15:40 パネルディスカッション  
「新たな北海道総合開発計画の推進～世界水準の価値創造空間の形成をめざして～」  
(コーディネーター)  
田村 亨(国土審議会北海道開発分科会計画部会委員、  
北海道大学大学院工学研究院教授)

(パネリスト)  
石田 東生(国土審議会北海道開発分科会計画部会委員、筑波大学社会工学域教授)  
大西 雅之(公益社団法人北海道観光振興機構副会長、  
特定非営利活動法人阿寒観光協会まちづくり推進機構理事長)  
林 美香子(国土審議会北海道開発分科会計画部会委員、  
慶應義塾大学大学院SDM研究科特任教授)  
松嶋 一重(株式会社日本政策投資銀行北海道支店長)  
吉田 弘志(鹿追町長)

※敬称略

17:00 閉会

■ 主 催：国土交通省、北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会、北海道経済同友会

## 【基調講演】

### 講師

#### 奥野 信宏（おくの のぶひろ）

国土審議会会長（同北海道開発分科会会長）、学校法人梅村学園・中京大学理事・学術顧問

昭和20年生。島根県出身。公共経済学専攻、経済学博士。京都大学大学院修士課程修了。名古屋大学経済学部教授・経済学部長、名古屋大学副総長等を経て現職。国土審議会会長・計画推進部会長・北海道開発分科会会長、内閣府共助社会づくり懇談会座長、内閣官房ナショナル・レジリエンス懇談会委員等。著書は「公共の役割は何か」（岩波書店）、「地域は『自立』できるか」（同）、「公共経済学」（同）、「新しい公共を担う人びと」（栗田氏と共著、同）、「都市に生きる新しい公共」（同）他。

## 【コーディネーター】

#### 田村 亨（たむら とおる）

国土審議会北海道開発分科会計画部会 委員、北海道大学大学院工学研究院 教授

札幌市出身。1983年北海道大学大学院工学研究科修了、東京工業大学助手、北海道大学助手、筑波大学講師、室蘭工業大学助教授、教授を経て、2012年10月北海道大学大学院工学研究院教授。社会資本整備審議会道路分科会委員（国土交通省道路局）、国土審議会北海道開発分科会計画推進部会委員（国土交通省北海道局）、などの要職を務める。主な著書：交通社会資本制度（編著：土木学会2010）、最適設計ハンドブック（分担：朝倉出版2003）、社会資本マネジメント（分担：森北出版2001）、空港整備と環境づくり（編著：鹿島出版1995）等多数。

## 【パネリスト】

#### 石田 東生（いしだ はるお）

国土審議会北海道開発分科会計画部会 委員、筑波大学社会学域 教授

大阪府出身。1974年東京大学土木工学科卒業。フィリピン大学客員教授、筑波大学学長補佐・教育企画室長などを歴任。内閣府総合科学技術・イノベーション会議専門委員、経済産業省産業構造審議会臨時委員、環境省中央環境審議会臨時委員など公職も務める。専門分野は交通政策・国土政策・都市計画。主な著書に「環境を考えたクルマ社会」（共著、技報堂）、「都市の未来」（共著、日本経済新聞社）、「みち——創り・使い・暮らす」（技報堂）など。

#### 大西 雅之（おおにし まさゆき）

公益社団法人北海道観光振興機構 副会長、特定非営利活動法人阿寒観光協会まちづくり推進機構 理事長

釧路市出身。東京大学経済学部卒業後、三井信託銀行（現：三井住友信託銀行）を経て、1981年阿寒グランドホテル入社。1989年より代表取締役社長。公益社団法人北海道観光振興機構副会長、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構理事長、釧路商工会議所副会副会長、アイヌ政策推進会議委員なども務める。道東各観光地の連携に奔走し、バス交通やイベント実施の相互調整や情報交換の場を設けるなど、地域の戦略的取組を主導したとして、「観光カリスマ百選」に選定されたほか、「平成28年度観光関係功労者国土交通大臣表彰」を受賞。

#### 林 美香子（はやし みかこ）

国土審議会北海道開発分科会計画部会 委員、慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任教授

札幌市出身。北海道大学農学部卒業後、札幌テレビ放送株式会社にアナウンサーとして入社。退社後、キャスターに。エフエム北海道「ミカマガジン」出演の他、執筆活動も。「食」「農業」「環境」「地域づくり」などのフォーラムにパネリスト・コーディネーターとしても参加。「農村と都市の共生による地域再生」の研究で北海道大学大学院にて、博士（工学）を取得。現在は、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授。北海道大学大学院農学研究院客員教授。北洋銀行社外取締役。NPO「モエレ沼公園の活用を考える会」理事。著書に「農村へ出かけよう」（寿郎社）「農業・農村で幸せになろうよ」（曇出版）など多数。札幌在住。

#### 松嶋 一重（まつしま かずふさ）

株式会社日本政策投資銀行 北海道支店長

1988年東北大学法学部卒業。同年に北海道東北開発公庫（現：日本政策投資銀行）入庫。北海道支店業務課長、法務・コンプライアンス部次長、地域企画部（地域振興グループ）次長、法務・コンプライアンス部長を経て、2015年から現職。北海道商工業振興審議会委員、北海道経済連合会常任理事などの公職も務める。主な著書に、「事業再生ADRの展開と課題・金融機関の実務対応～ブレッドIPファイナンスの留意点」（共著、季刊「事業再生と債権管理」128号）、「金融機関のための倒産・再生の実務」（共編著、金融財政事情研究会）など。

#### 吉田 弘志（よしだ ひろし）

鹿追町長

鹿追町出身。1999年から現職（五期目）。鹿追町職員時代は、農務課長、総務課長、教育長等を歴任。その後、行政書士、鹿追町議会議員を二期に渡り務め、副議長の要職にも就任。町長選初当選以降は、「活きて（経済の発展）生きる（福祉の増進）まちに」をスローガンに掲げ、農業土地基盤整備、農業雇用支援体制の整備、観光客80万人から100万人へ、然別湖園地のバリアフリー化、統合ゲートボール場建設、第3子以降の保育料無料化、タクシー券による交通弱者支援、小中高一貫教育の充実など数多くの政策を展開し、鹿追町の発展に尽力。

Memo